

# JIS

UDC 001.4 : 662.98 : 620.9

Z 9211

## エネルギー管理用語 (その1)

JIS Z 9211 -1982

(1992 確認)

(2003 確認)

(2007 確認)

昭和 57 年 2 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 資源エネルギー部会 エネルギー管理用語専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	谷下市松	幾徳工業大学
	小泉睦男	早稲田大学理工学部
	奈須俊和	資源エネルギー庁長官官房
	檜山博昭	資源エネルギー庁石炭部
	林俊太	工業技術院標準部
	佐々木正治	工業技術院公害資源研究所
	矢部丈夫	社団法人日本鉄鋼連盟原料部
	富田実	東亜石油株式会社
	宮川洋	東京大学工学部
	穂積重友	財団法人石炭技術研究所
	村上哲三	日本化学工業協会技術部技術課
	神谷佳男	東京大学工学部
	坂本典雄	日本石炭協会技術部
	猪俣誠	社団法人日本瓦斯協会技術開発室
	石渡宏	社団法人窯業協会
	野木孝次	社団法人セメント協会研究所技術部
	朝倉英二	社団法人日本ボイラ協会技術部
	五月女郁雄	社団法人産業機械工業会
	野崎幸雄	財団法人省エネルギーセンター技術部
(事務局)	小沢祥浩	工業技術院標準部材料規格課
	宮崎正治	工業技術院標準部材料規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 57. 2. 1 確認：平成 4.6.1

官報公示：平成 4.7.3

原案作成協力者：財団法人 省エネルギーセンター

審議部会：日本工業標準調査会 資源エネルギー部会（部会長 松本敬信）

審議専門委員会：エネルギー管理用語専門委員会（委員長 谷下市松）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## エネルギー管理用語(その1)

## Technical Terms Used in Energy Management

Z 9211-1982

(1992 確認)

1. 適用範囲 この規格は、工場又は事業場におけるエネルギー使用設備に用いられるエネルギー管理用語のうち、主として一般及び熱管理に関する用語について規定する。

2. 分類 エネルギー管理用語(その1)は、次のように分類する。

## (1) 一般用語

## (1.1) 一般

## (1.2) エネルギー源

## (1.3) 単位系

## (1.4) エネルギー勘定

## (2) 熱管理用語

## (2.1) 物性値

## (2.1.1) 基本物性値

## (2.1.2) 熱力学物性値

## (2.1.3) 化学熱力学物性値

## (2.1.4) 湿り空気物性値

## (2.1.5) 伝熱及び熱物性値

## (2.1.6) 輸送(トランスポート)物性値

## (2.2) 燃料

## (2.2.1) 固体燃料

## (2.2.2) 液体燃料

## (2.2.3) 気体燃料

## (2.3) 熱力学、伝熱及び熱化学

## (2.3.1) 熱力学基本法則

## (2.3.2) 気体の法則

## (2.3.3) 多成分系

## (2.3.4) 熱伝導及び対流熱伝達

## (2.3.5) 放射伝熱

## (2.3.6) 化学反応

## (2.4) 蒸気及び熱媒体

## (2.4.1) 蒸気

## (2.4.2) 湿り空気

## (2.4.3) 熱媒体

## (2.5) 燃焼

## (2.5.1) 燃焼計算

## (2.5.2) 燃焼形態

## (2.5.3) 燃焼現象

## (2.5.4) 燃焼生成物